

輝き

三木市立三木特別支援学校 学校通信 No.10 令和6年3月1日

あと1か月になりました

先日、中学部3年生が高等部受験の練習をしていました。私も少しだけ参加させてもらい、面接試験の練習を生徒と一緒にしました。

校長室で待っていると、生徒がノックをします。「どうぞ。」と応えると、扉を開け、「失礼します。」とはっきりと言って入ってきます。面接では、名前や好きなことなどを尋ねます。生徒は1つ1つの質問に丁寧に答えてくれました。10分ほどで面接練習は終わり、「失礼しました。」と言って出ていきました。面接練習をしながらつくづく思いました。3年生になった頃、ある子に「おはよう。」と挨拶しても、恥ずかしいのか、返答してくれませんでした。また別の子に何か質問をすると、すぐに隣にいる担任の方を見て助けを求め、自分で応えることがなかなか難しかったのを思い出します。そのような様子だった子どもたちが、立派に面接試験に臨み、しっかりと応えています。中学部3年生の確かな成長を感じ、暖かい気持ちになりました。

高等部入試は2月21日にあり、全員無事に受験でき、29日には全員合格の嬉しい知らせを受けました。これからどんな高等部生活を送るのか、またどんな大人になっていくのか、将来が楽しみです。

成長を感じたのは中学3年生だけではありません。小学部1年生はすっかり学校生活に慣れて、毎日を笑顔で過ごすことが増

えています。また別の子は絵カードやICT機器を使って、自分の思いを表現しています。中学部の生徒では、友だちに自分から関わっていく姿が見られます。自分の思いを言葉で一生懸命伝えようとしている子もいます。在校生32人全員の確かな成長を感じています。

子どもたちの成長は、子ども自身のがんばりが一番大きいですが、子どもを支えるご家庭と学校、関係機関とのつながりによって、そのがんばりはより一層強化されます。本年度もたくさんご協力いただきましたことに感謝します。また、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

縦の成長と横の成長

前述のようにできなかったことができるようになるのを「縦の成長」と言った方がおられます。縦の成長と同じく、またそれ以上に大切なのが、「横の成長」です。横の成長とは、好きなことが見つかったり増えたりすることや、新しいことを経験すること、人や物に触れて心が動くことなどです。これらは一見すると、無駄なことに見えるかもしれませんが、しかし、無駄に見えるものこそ、こどもの世界を広げ、活動の意欲や人生の豊かさにつながります。

学校は、子どもたちの縦の成長と横の成長をバランスよく組み合わせることが求められていると、しみじみと感じています。

校長 橋本 泰一